

# 第26回 研究研修大会 アンケート 集計・考察

新事研 研究研修企画部

Q1 全体会についてお聞きします 回収数 266

アンケート回収率 46.6%  
(回答数/参加申込数)  
(266/571)

とてもよかった	32	12.0%
よかった	191	71.8%
あまりよくなかった	15	5.6%
無記入	28	10.5%
合計	266	

プレゼン・解説ともに大変わかりやすく、これまでよく理解できなかったことがわかった。と好評である。反対意見として、既に周知されていることであり、ここで時間を割く必要があるのかといったコメントが数件あった。

現在の形になるまでどのような方針で研究が進められ、新事研が活動してきたかを再確認し、新しい会員に周知する内容としては、目的を達成したといえるだろう。従事アンケート結果が、会員に届いていないとの声も一部寄せられている。周知方法も含め、支部毎の差異が無くなるよう、このような機会は、繰り返し設けていく必要があると考える。

Q2 参加された分科会もしくは講座についてお聞きします

◆ 選んだ理由をお聞かせください。(選択肢とその他欄の重複回答あり)

7/9段階の参加申込数	122	94	208	147	571
8/25の回答数	28	41	117	80	266
アンケート回収率	23.0%	43.6%	56.3%	54.4%	46.6%

	第1分科会		第2分科会		講座研修A		講座研修B	
テーマに魅力	18	52.9%	21	42.9%	91	68.9%	62	66.7%
指導者に魅力	2	5.9%	2	4.1%	6	4.5%	1	1.1%
その他の理由	13	38.2%	21	42.9%	25	18.9%	21	22.6%
無記入	1	2.9%	5	10.2%	10	7.6%	9	9.7%
合計	34		49		132		93	

◆ 内容についてはいかがでしたか。(理由欄との重複回答、理由欄のみの回答あり)

	第1分科会		第2分科会		講座研修A		講座研修B	
とてもよかった	8	29.6%	11	28.2%	91	77.8%	34	42.5%
よかった	11	40.7%	21	53.8%	24	20.5%	36	45.0%
あまりよくなかった	6	22.2%	1	2.6%	0	0.0%	6	7.5%
無記入	2	7.4%	6	15.4%	2	1.7%	4	5.0%
合計	27		39		117		80	
内容選択理由記入数	21		21		73		35	

## 第1分科会

グループ長として必要な内容、グループ運営に参考になる内容を期待し参加をした会員が多いように思われる。校長先生の話が参考になったという意見、自グループで生かそうという意見がある反面、協議の時間不足、地域の進度の違いにより参考にならなかったという意見もあった。

## 第2分科会

事務部経営計画の作成をするために参加した。既に経営計画の作成が済んでいる会員については、評価への結びつけの方向性を見いだしたいためという参加理由が多い。

具体的な実践を聞き、参考になった。これからどうしていけばよいのかわかった。といった高評価が多い反面、支部を越えた異動があった場合、格差にとまどうという意見もあった。先進地域と取り組みに遅れのある地域では、10年違うとの回答もあり、新事研として地域格差を縮める取り組みの必要性を感じる。

## 講座研修A・研修講座B

特別支援教育に関する内容は、普段聞けない、受けられない内容であるため、ここで受けられて良かった。との声が多数あった。また、能登先生の講義が素晴らしい内容のため、来年も開催し今年聞けなかった会員にも聞いて欲しいとの声もあった。

コミュニケーション能力の育成は、仕事・人間関係に生かせる研修であった。演習がもっと長いとさらに良かったのではないかと前向きな声が多数あった。

この機会に受けられて非常に良かった、ためになったという声が大多数であるが、校内等の身近な勤務に関する研修の一環として受けられないのは残念である。新事研の研修会で実施しなければ受ける機会がない事に関して、新事研として教委に現状を説明し、公的な研修機会が増えるよう働きかけていかなければならない。また、会員自身も地域で行われる講演会や研修会など、機会を捉えて自らを高めていく必要があると思われる。

## ◆ 今後企画して欲しい講座があればご記入ください。

講座研修Aの参加者からは、「今年度の内容を他の方にも聞いて欲しいので来年も!」、「さらに発展した内容で継続して欲しい」という意見があり、会員の心を掴んだ講座設定ができたことは喜ばしい。

その他、若手対象の実務研修。児童生徒理解、子供の問題行動への関わり方、人権教育、同和教育、教育課程研修と学校で必要とされる知識・理解を要する研修。保護者との関わり方、クレーム対応、交渉力、カウンセリング等コミュニケーション能力の育成を期待する内容があった。また、大きい大会でなければ聞けない講演をとった要望から、Excel研修までバラエティに富んだ内容が寄せられた。

昨年度の考察の繰り返しとなるが、新事研全体で行う研修は、全県的な場がより効果的な内容や、一支部での開催が難しい内容を、会員の希望を参考に設定していく。支部・地域研修との連携が図られるよう、研修内容の早期決定、連絡周知を心がけていきたい。

## Q3 全体を通して、ご意見・ご感想をお書きください。

### 〔大会期日について〕

職員の夏季休暇の取得時期でもあり、1日研修のために学校を空けることが難しいと、再考を望む声が多数あった。開催の準備を地区持ち回りではなく運営部で行うことになってからの懸案事項として、全国大会・北越大会の開催期日との関連がある。また、夏季休業の時期が地域により違うことから、調整し開催日を決定すると10日前後の設定となってしまうため、会員からは事情を承知していただきたいと考えている(21年度は8月11日、上越地域にて開催)。

### 〔日程について〕

開会式の在り方について、全国大会の報告、全体会、分科会、講座研修と、内容が盛りだくさんのため、少し緩やかにしてはとの提案が寄せられている。大会運営部で検討をしていく。

### 〔会場について〕

駐車場の不足から、自家用車の乗り入れを禁止したが、来年度以降駐車場設備のある会場を希望する声が多数であった。公共交通機関の利用について案内を行ったが、自家用車の利用をし、近隣施設に迷惑をかける形となってしまったことは残念に思う。会場を設定するにあたって、駐車場の確保等も、検討していく上で大きな問題であることを再認識している。

※ アンケートに寄せられた会員の皆様の声を受け止めながら、次回大会、そして今後の研修に生かしていきたいと思っております。大会への多くのご参加、アンケートのご協力に心より感謝申し上げます。